

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 57

政策体系	45	事業分類	ソフト事業	所管部局	企画管理部 企画推進課
会計	一般会計	科目	2.総務費 - 1.総務管 - 6.企画費 現年		
事業名	国際交流事業				
細事業名	国際交流事業				
評価表作成者				企画政策部 地域振興課	国府 孝之

1. 事業の概要

適切な国際感覚を養うため、国際交流フォーラムの実施や市民等を対象とした各種交流事業を実施する。また、市民により組織された国際交流組織の活動を支援する。財団法人南丹市園部国際学園都市センターに委託事業として実施する。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

国際交流を図るための各種交流事業を進める事業。

②事業を実施する必要性

適切な国際感覚の定着はまだ不十分であり、諸外国の人々との友好的な関係を築くうえで異文化理解の意識の高まりが必要

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	398	118	2,004	1,974	2,000	2,000	2,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	983	950	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	398	118	1,021	1,024	2,000	2,000
職員等の従事人員	人/年	—	0.35	0.15	0.10			
人件費	千円	—	2,338	1,007	646			
事業費総額	千円	—	2,456	3,010	2,620			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

・国際交流推進事業委託 1,974,000円

5. 事業結果の概要

・留学生や子どもをはじめ市民を対象にした各種の多文化体験と交流事業の実施
 ・社会人に対する外国語教室、在住外国人のための日本語教室など、国際理解のための啓発・普及事業の実施

6. 活動の詳細

国際交流事業		
・サイパン島青少年訪問団歓迎事業 サイパン島青少年訪問団の訪日にあわせ、主に中学生を対象に交流会を実施する。	2月6日、2月7日	遊YOUひよし、日吉山の家 サイパン留学生 10人 市内中学生 21人
・国際交流総合窓口の設置 在住外国人の窓口、国際交流の拠点として総合窓口設置	4月～3月	国際交流会館 毎週 火・水・木 12:00～16:00
・世界の料理教室 外国語使いながら手軽な材料で出来る「ドイツの家庭料理」を作り、会食会を実施する。	9月26日	厨房ゆるり(美山) 参加者 22人
・ワールドカフェ ジャパニーズテイー お茶作法等の紹介、交流 ドイツカフェ 基礎ドイツ語等の紹介 地球の食卓ワークショップ 世界の食文化を学ぶ	8月28日 9月4、11、18、25日 2月15日	参加者 23人 参加者 47人 参加者 12人
・キッズイングリッシュ 幼児・小学校児童を対象とした英会話教室	8月3日、8月4日、8月5日	国際交流会館 参加者 市内小学生 28人 幼児 8人
・情報の収集、提供事業 ホームページ管理、国際交流ニュース	4月～3月	国際交流ニュース2回発行
・語学教室、在住外国人の語学教室 初級 18回 準初級 8回 中級 28回 日本語教室 18回	4月～3月	園部公民館、遊Youひよし、国際交流協会事務室 参加者 英会話 271人 ドイツ語 47人 日本語 92人
・なんとにあんKidsカーニバル 子ども達のための国際交流イベント ・外国紹介ブース、ワールドカフェ、子供の発表	2月27日(日)	国際交流会館 参加者 295人
・ひとあし早いクリスマス 園部高校吹奏楽部・OB会 演奏、在住外国人と市民との交流を行う	12月12日(日)	参加者 市内中学生他 61人
・フィールドトリップ事業 るり溪で、京都府内外国人留学生、市内中高生との交流	10月16日(土)	参加者 市内中学生、一般 28人 在住外国人 43人

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

（助）南丹市園部国際学園都市センターに南丹市国際交流推進事業を業務委託した。今後も、異文化交流により適切な国際感覚を養い、国際社会に対応できる人材の育成等を目指す。市民主体による国際交流事業の取組みについて検討を要する。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

（助）南丹市園部国際学園都市センターに南丹市国際交流推進事業を業務委託した。今後も、異文化交流により適切な国際感覚を養い、国際社会に対応できる人材の育成等を目的として、業務委託を継続する。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
南丹市国際交流協会の設立に向け、議論を重ねた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
当面は、南丹市国際交流協会の自立に向けた行政支援が必要である。